

図1 反応条件がラフィド藻類 *G. semen* のトリクロロ酢酸生成能に与える影響 (n=3)
TCAA はトリクロロ酢酸 (左) 反応時間 (右) 塩素添加量

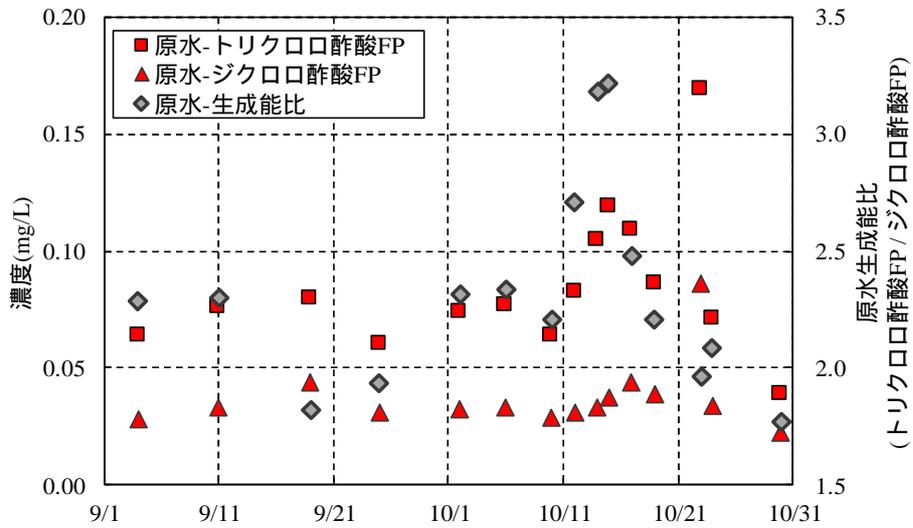


図2 原水ハロ酢酸生成能および生成能比

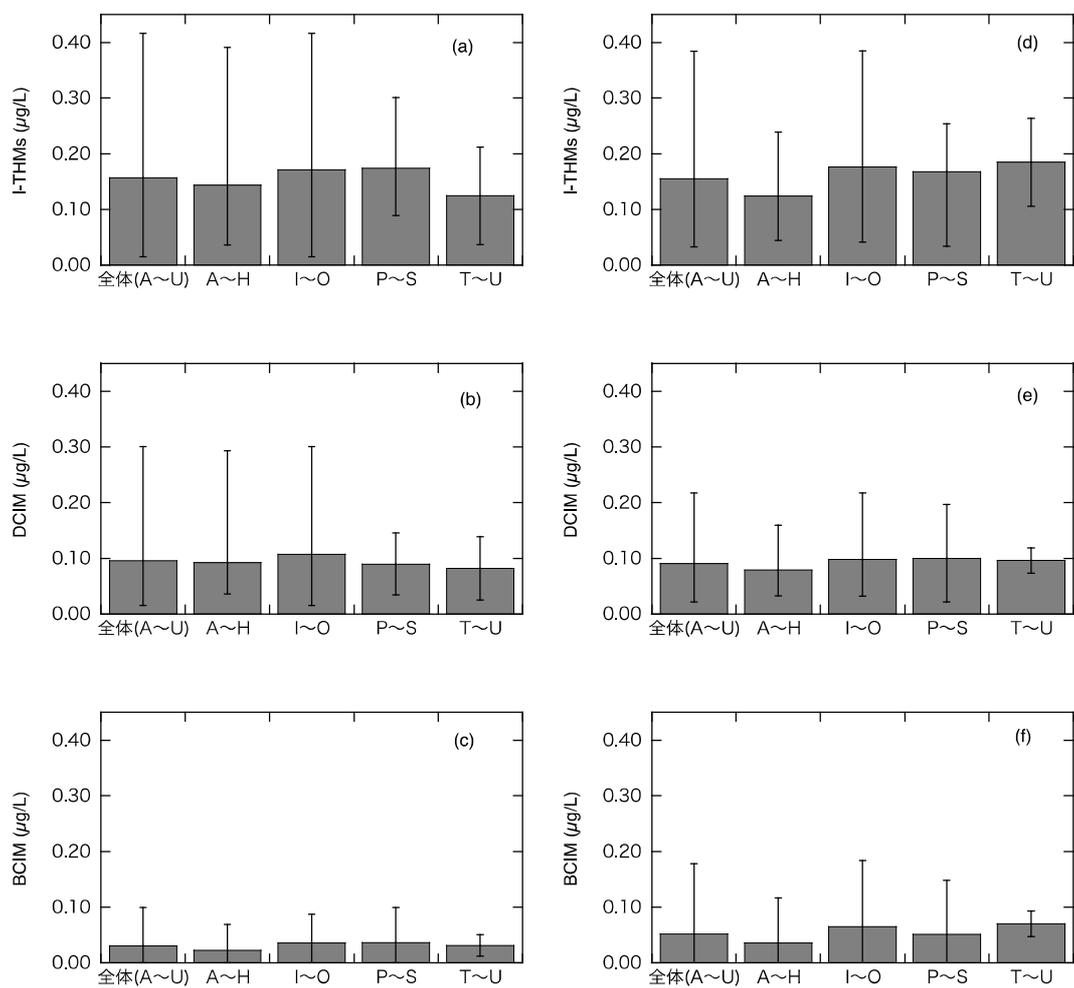


図3 浄水処理プロセスの違いによって比較した DCIM/BCIM/I-THMs 濃度の平均値と最大/最小値 (a: I-THMs 夏季、b: DCIM 夏季、c: BCIM 夏季、d: I-THMs 冬季、e: DCIM 冬季、f: BCIM 冬季)

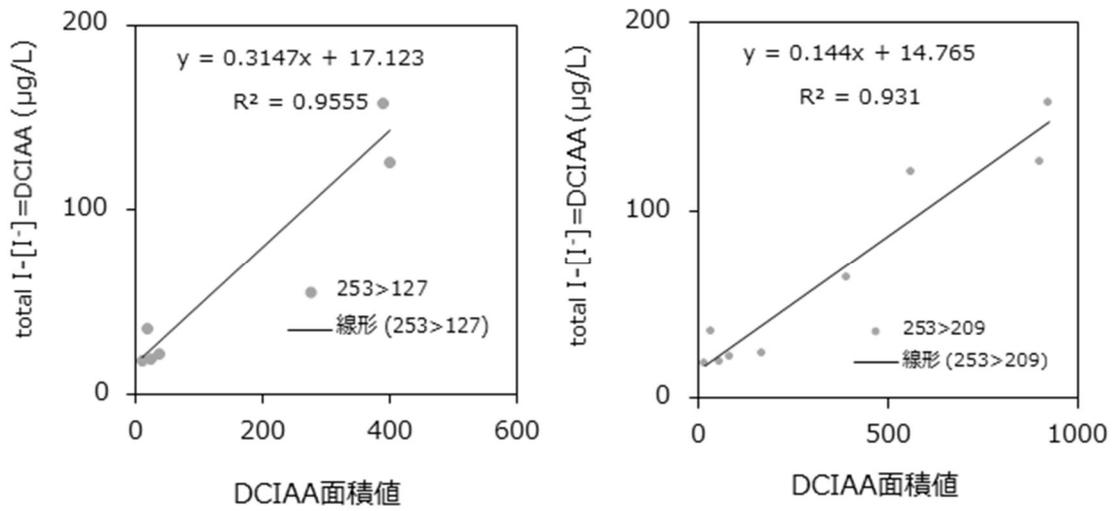


図4 DCIAA面積値との関係性 (左:m/z、253>127 ; 右:m/z、253>209)

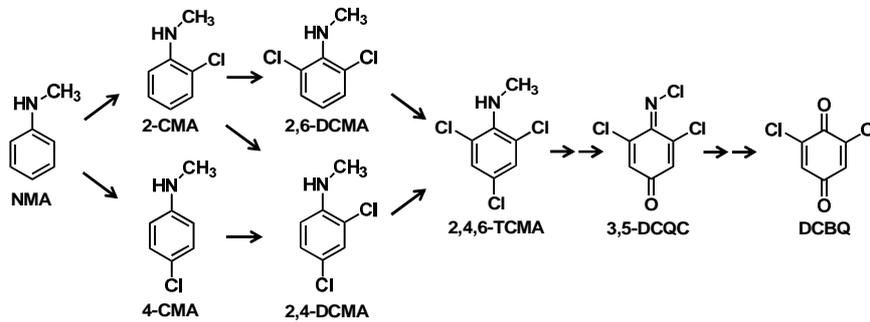


図5 NMAの塩素処理によるDCBQの推定生成経路

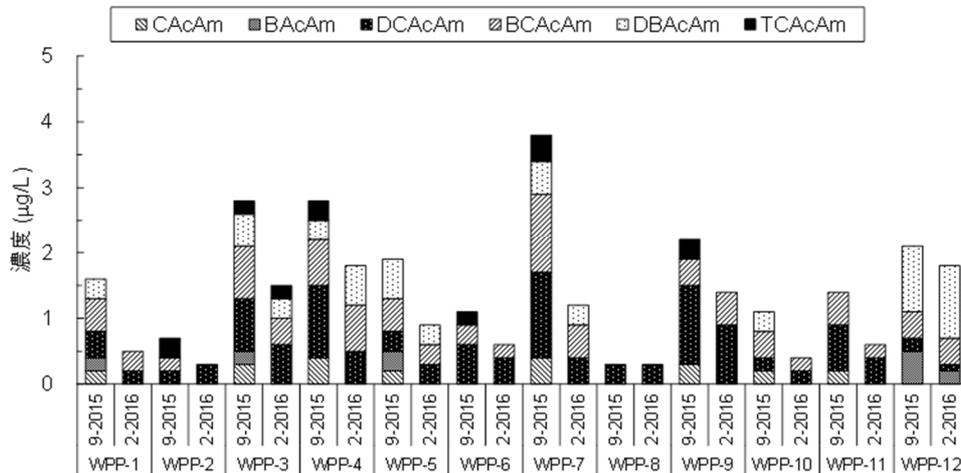


図6 全国12浄水場の水道水中のHAcAms濃度

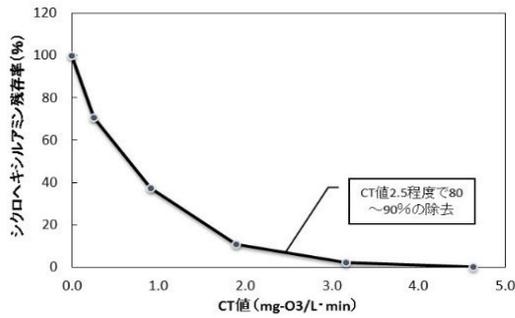


図7 オゾン処理実験結果 (CHA 濃度 50 µg/L、水温 30 °C)

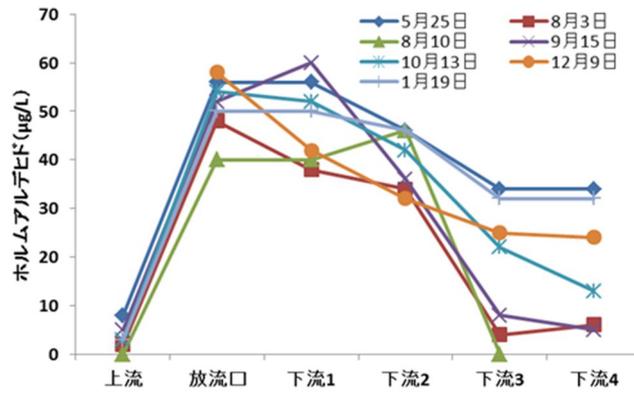


図8 西高瀬川におけるホルムアルデヒドの挙動

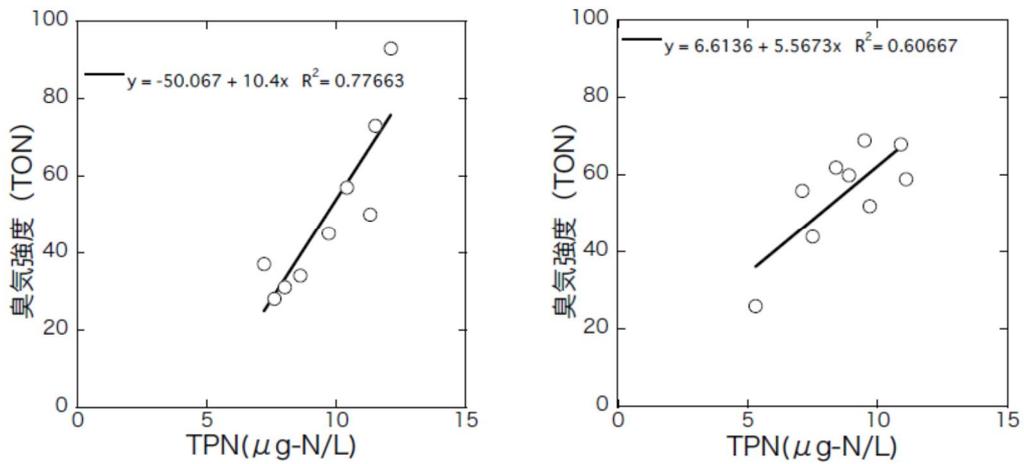


図9 TPN と TON の比較 ((左) 高度浄水処理水、(右) 急速ろ過水)

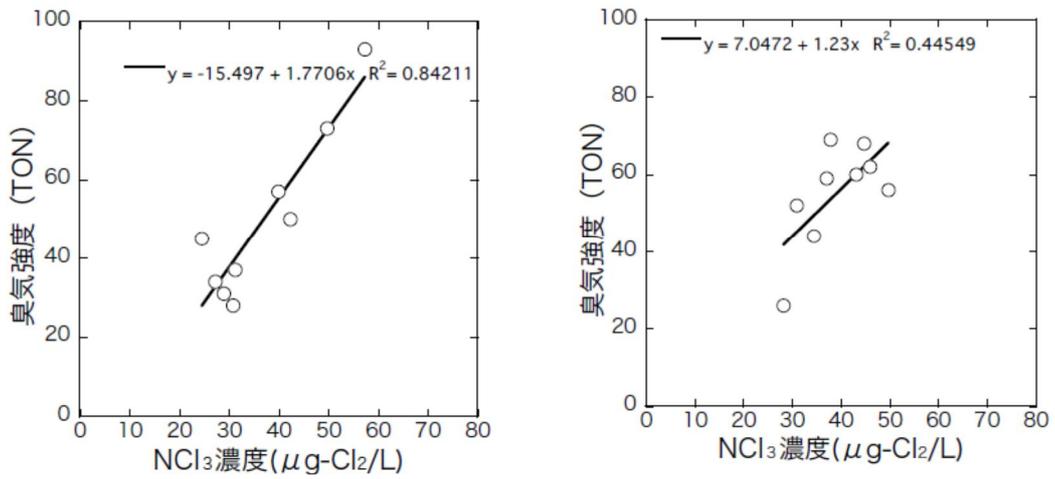


図10 NCl₃濃度とTONの比較 ((左) 高度浄水処理水、(右) 急速ろ過水)

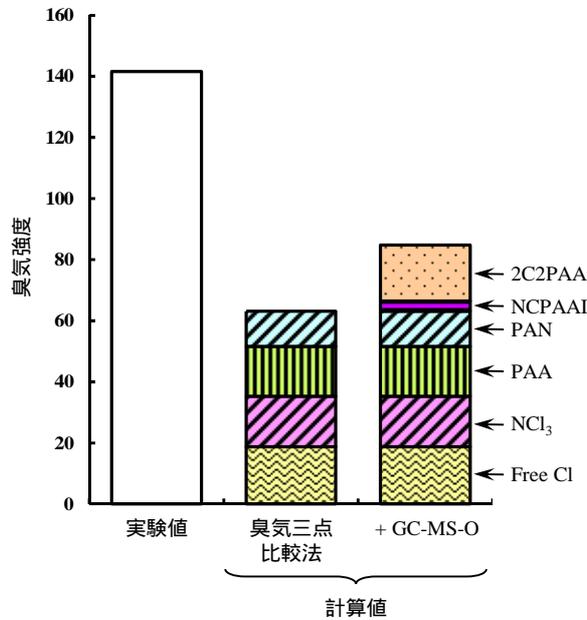


図11 フェニルアラニン塩素処理溶液の臭気強度の実験値と計算値の比較 (2C2PAA、2-クロロ-2-フェニルアセトアルデヒド; NCPAAI、*N*-クロロフェニルアセトアルドイミン; PAN、フェニルアセトニトリル; PAA、フェニルアセトアルデヒド; NCl₃、トリクロラミン; Free Cl、遊離塩素)